
まとめ

まとめ

1. 岩倉市の住みやすさ

岩倉市の住みやすさは、「総合的な住みやすさの評価」「周辺的生活環境」「生活の場としての評価」「定住意向」「定住理由」「移転理由」「住まい周辺の住環境の問題点」「まちづくりのルールについての考え」について調査しました。

◆「総合的な住みやすさの評価」

- ・「住みよい」が20.5%、「どちらかと言えば住みよい」が56.3%となっており、これらを合わせ岩倉市に対して住みやすさを感じている市民の割合（以下“住みやすいという評価”）は76.8%を占めています。「どちらかと言えば住みにくい」が4.9%、「住みにくい」が1.6%となっており、これらを合わせた岩倉市に対して住みにくさを感じている市民の割合（以下“住みにくいという評価”）は6.5%にとどまっており、総じて、岩倉市は多くの市民から住みよいまちであるとの評価が得られています。過去に実施した調査結果と比較すると、“住みやすいという評価”は、わずか数ポイントずつではあるものの、平成10年調査以降、一貫して増加しています。

◆「周辺的生活環境」

「健康・福祉」「環境・防災防犯」「生涯学習・教育」「都市基盤」「協働」の項目について、“満足度”を調査しました。

- ・過去調査と比較すると、平成元年から今回（平成25年）までの各項目の生活環境評価の評価点の推移をみると、毎回増加している項目は「医院・診療所までの近さ」「駅・バス停への近さ」の2項目です。全体的に増加している項目は「身近な子どもの遊び場」「身近な公園・緑地」「付近の緑の豊富さ」「自動車公害の少なさ」「通学路の安全性」「小・中学校までの近さ」「電車・バスの運行本数」「電車・バスの混み具合」「日常の買い物の便利さ」「日当たりや風通し」「近所づきあい」「地元・地域との人間関係」の12項目です。減少した主な項目は「道路の舗装状況」「犯罪・暴力からの安全性」「水はけの良さ」「自転車の通行の安全性」「工場公害の少なさ」です。減少した項目をみると調査時点の状況で評価が変わる可能性がある項目です。「身近な子どもの遊び場」のポイントが増加した理由については、子育て支援センター、さくらの家の子どもルーム、長瀬公園などが整備されたことが考えられます。また、「日常の買い物の便利さ」のポイントが増加した理由については、ドラッグストアやコンビニエンスストアの出店が増えていることが考えられます。「犯罪・暴力からの安全性」のポイントが減少した理由については、街頭犯罪等の発生も少なくなく、全国的にも振り込め詐欺など悪質な犯罪が増加していることなどが影響しているものと考えられます。「水はけの良さ」のポイントが減少した理由については、地球温暖化の影響により近年ゲリラ豪雨が増加したことが考えられます。
- ・岩倉北小学校区は、市内の中でも駅や商業地が近くにありますが、一部の項目を除いて、全般的には平均程度の評価になっており、市内における平均的な学区といえます。
- ・岩倉南小学校区は、日常の買い物の便利さや医院・診療所までの近さなどの都市的生活の利便性は、前回に比べ向上しています。全般的に生活環境に関する評価は、低い学区となっています。
- ・岩倉東小学校区は、全般的にみて、市内で最も生活環境に対する評価が高い学区といえます。他の学区における評価が全般的に向上していることから、他の学区との差は以前に比べて、小さくなりつつあり

ます。

- ・ 五条川小学校区は、「近所づきあい」「地元・地域との人間関係」などの近隣の人間関係や「付近の緑の豊富さ」の評価について他の学区に比べて高いことが特徴といえます。
- ・ 曾野小学校区は、全般的に評価は高くなっていますが、「身近な子どもの遊び場」「身近な公園・緑地」「子どもの遊び場の安全性」などの子どもの遊び場については、他の学区より評価が低くなっています。

◆「生活の場としての評価」

岩倉市を生活の場としてどのように感じているのかについて、「子育てするまち」「児童・生徒・学生が生活するまち」「家庭を預かる主婦（主夫）が暮らすまち」「家族で休日や余暇を過ごすまち」「高齢者が生活していくまち」の5項目に分けて評価を求め、「良い」を+1点、「普通」を0点、「悪い」を-1点として評価点を算定しました。

- ・ 全体では、「子育てするまち」が0.19で最も高くなっています。「児童・生徒・学生が生活するまち」「家庭を預かる主婦（主夫）が暮らすまち」が0.15、「高齢者が生活していくまち」が0.01とプラスの評価を得ています。子ども・主婦（主夫）が暮らすまちとしての評価が高いのですが、平成20年調査と比較すると評価は下がっています。「家族で休日や余暇を過ごすまち」が-0.18で、5項目の中で唯一マイナス評価となっています。本市の場合は市域が狭いために、レジャー施設や公園などの余暇の場をまとめた面積で確保することが困難であることもあり、過去の調査から依然としてマイナスの評価が続いています。

◆「定住意向」

- ・ 「永住したい」が35.5%、「当分住み続けたい」が37.2%となっています。これらを合わせた岩倉市への定住の意向を持つ市民（以下、「定住意向」）は、72.7%を占めています。「できれば移転したい」が6.1%、「移転する予定がある」が2.8%となっています。これらを合わせた岩倉市から移転の意向を持つ市民（以下、「移転意向」）については8.9%となっています。過去の調査結果と比べると、前回調査では「定住意向」が79.5%であったのに対して、今回調査では72.7%となっており、今回の調査では前回調査よりも6.8ポイント減少しています。

◆「定住理由」

- ・ 「自分の家や土地がある」（61.1%）を理由とする市民が最も多く、「交通の便が良い」も比較的多くなっています。それ以外に、「愛着がある」「通勤・通学に便利」ということを理由とする人も少なくありません。

◆「移転理由」

- ・ 「自分の家や土地がない」（29.3%）という理由が最も多くなっています。次いで「愛着がない」となっています。そのほかに「近くに親戚や親しい人がいない」、「家族の都合」ということを理由とする人も少なくありません。

◆「住まい周辺の住環境の問題点」

- ・ 61.3%の市民が、住まい周辺の住環境について何らかの問題点を感じています。「道路が狭く、建物がごちゃごちゃしている」が33.3%と最も多く、次いで「農地が住宅に変わるなど身近な緑が減少してい

る」が19.7%という順になっています。

- ・全般的にみて、大きな変化は認められませんが、「特にない」が今回調査で過去最も多くなっています。

◆「まちづくりのルールについての考え」

- ・「現在の住環境を保全するため、ぜひ必要である」が最も多く、「みんながルールづくりに賛成するならそれに従う」という消極的な賛成意見を合わせると、まちづくりのルールを設けることに賛成的な市民（以下“ルールに賛成的な市民”）は51.6%となっています。“ルールに賛成的な市民”が“ルールに反対的な市民”を30.8ポイントも上回っています。なお、「わからない」というどちらとも判断がつけられない市民も少なくありません。
- ・過去調査と比較すると、“ルールに賛成的な市民”の占める割合は、平成10年調査58.2%、平成15年調査64.7%、平成20年調査63.2%でしたが、今回調査では51.6%と減少しています。その一方で、“ルールに反対的な市民”の占める割合は、平成10年調査14.1%、平成15年調査12.3%、平成20年調査17.5%でしたが、今回調査では20.8%と増加しています。

2. 岩倉市のまちづくり

岩倉市のまちづくりは、「岩倉市のまちの魅力」「施策に対する満足度と重要度」について調査しました。

◆「岩倉市のまちの魅力」

「健康・福祉」「環境・防災防犯」「生涯学習・教育」「都市基盤」「産業」「協働」「その他」の項目別に“魅力がある点”、“魅力がない点”を調査しました。

“魅力がある点”の方が“魅力がない点”よりも1人あたりの回答項目数が多く、これまでの調査と比較しても「魅力がある点」の評価割合は大きく増加しており、全般的に岩倉市の魅力については評価が高まっているといえます。

◇“魅力がある点”

- ・1人あたりの回答項目数を前回までの調査と比較すると、平成15年調査では3.5項目、平成20年調査では5.0項目、今回調査では8.1項目となっています。今回調査では、平成20年調査の約1.6倍となっており、岩倉市の“魅力がある点”をあげる市民が大きく増加しています。
- ・岩倉市の“魅力がある点”の順位は「交通の便が良く、通勤・通学に便利である」「市内のイベントが活発に行われている」「日常の買物が便利である」「緑などの自然環境に恵まれている」「人々が親切で人間味がある」となっています。

◇“魅力がない点”

- ・1人あたりの回答項目数を前回までの調査と比較すると、平成15年調査では2.7項目、平成20年調査では3.7項目、今回調査では6.2項目となっています。今回調査では、平成20年調査の約1.7倍となっており、岩倉市の“魅力がない点”をあげる市民も増加しています。
- ・岩倉市の“魅力がない点”の順位は「防犯面における不安が多い」「働く場所がない」「まちに活気がない」「スポーツ施設が充実していない」「医療施設が充実していない」となっています。
- ・最も“魅力がない点”として評価された「防犯面における不安が多い」（51.0%）については、前回調査（39.5%）に比べて、11.5ポイントと大幅に増えています。

◆「施策に対する満足度と重要度」

「健康・福祉」「環境・防災防犯」「生涯学習・教育」「都市基盤」「産業」「協働」の項目別に、“満足度”、“重要度”を調査しました。

◇“満足度”

- ・プラスの評価の項目は、41項目中34項目あります。「自然環境の保全」「公共交通の利便性」「安全で安定した水道」「ごみ収集・処理体制」「消防・救急体制」「健康づくりへの支援」「生涯学習の充実」「生活排水処理」「遺跡・文化財の保護継承」「子ども等の医療費助成」などの施策項目の満足度が高くなっています。
- ・マイナスの評価の項目は、41項目中7項目あります。「歩行者等の安全対策」「産業振興」「小売商業の振興」「市街地整備等」「市政への市民参画」「観光・交流の振興」「防犯対策」などの施策項目の満足度が低くなっています。
- ・前回調査と比較すると、満足度評価点が下がった項目は「観光・交流の振興(-0.14点)」「市政情報の提供(-0.02点)」「防犯対策(-0.01点)」の3項目で、残りの38項目はすべて上がっています。満足度がプラスの項目は、前回調査で11項目、今回調査は34項目と大幅に増加しています。満足度がマイナスの項目は、前回調査で25項目、今回調査は7項目と大幅に減少しています。
- ・総合的な住みやすさの評価が高いほど、施策に対する満足度も高くなっています。“住みやすい”という評価と“住みにくい”という評価の評価点格差の最も大きい項目は「ごみ収集・処理体制」でした。次いで、「公共交通の利便性」「防犯対策」「歩行者等の安全対策」となっています。総合的に住みやすいまちという評価をより多くの市民から得るためには、このような施策を重点的に推進することが効果的であると考えられます。

◇“重要度”

- ・41項目すべてがプラス得点となっています。安全・安心や公衆衛生など暮らしの基本的な部分に関わる施策項目の重要度が高くなっています。
- ・前回調査と比較すると、前回調査の平均重要度は0.56点、今回調査は0.57点でほとんど変化はありません。
- ・総合的な住みやすさによって、重要度に差がみられる項目があるものの、満足度の場合とは異なり、重要度の場合、総合的な住みやすさ別の評価の違いによる大きな差はみられません。

◇“優先度”

- ・高齢者が被害に遭う交通事故や振り込め詐欺等の増加、南海トラフ巨大地震発生に対する不安などを背景として、安全・安心に関わる項目の優先度は高く、上位から「歩行者等の安全対策」「防災対策」「防犯対策」の順となっています。安心に関わる項目のうち、医療・福祉分野の施策項目では、「医療機関との連携」「高齢者の福祉」「障害者の福祉」は上位10位以内に入っています。さらに、「生活排水処理」「公害の防止」などの公衆衛生に関わる分野の施策項目の優先度も上位10位以内に入っています。

3. 健康・福祉

健康と福祉は、「家族の健康状態」「健康維持・増進のための行動」「健康づくり施策に対する要望」「子育てや青少年の健全育成の問題点」「子育てに関する施策への要望」「食育に対する関心事項」「高齢者福祉に対する要望」「地域福祉に対する要望」について調査しました。

◆「家族の健康状態」

- ・「家族全員が健康である」が56.4%と圧倒的に多くなっています。しかしながら、「病気やけがで通院している家族がいる」が23.0%、「あまり健康でない家族がいる」が18.5%と本人や家族が健康上の問題を抱えている市民はかなり多くいます。
- ・過去調査と比較すると、「家族全員が健康である」については、過去減少傾向でしたが、今回調査では増加しました。「病気やけがで通院している家族がいる」については、一貫して増加傾向となっています。「あまり健康でない家族がいる」は、前回調査までは増加傾向でしたが、今回調査では減少しています。「病気やけがで自宅療養している家族がいる」については、割合は低いですが一貫して増加傾向となっています。

◆「健康維持・増進のための行動」

- ・「食生活に注意している」が最も多く、次いで、「定期的に健康診断を受けている」「適度な休息をとり、規則正しい日常生活を送っている」「添加物の少ない食品や低農薬野菜などを取るよう、食物に気を使っている」となっています。また、「日常生活の中でできるだけ歩くなどしている」「ウォーキング・ジョギング・体操など軽い運動を定期的に行っている」「ビタミン剤などの栄養補給剤、漢方薬を使用している」「酒・たばこをつつしむようにしている」など、多くの市民は比較的多様な健康維持・増進を行っています。

◆「健康づくり施策に対する要望」

- ・「健康診断やがん検診の充実」が最も多く、次いで、「健康に関する知識を得るための機会の充実」「気軽にできる健康体操教室の充実」「健康問題に関する相談の充実」「歯科保健事業の充実」となっています。

◆「子育てや青少年の健全育成の問題点」

- ・「家庭でのしつけが不十分である」が最も多く、次いで、「家庭でのふれあいが不十分である」となっており、子育てや青少年の健全育成の問題点は家庭にあるとする回答が多くなっています。「テレビなどが子どもに悪影響を与えている」「世の中の風俗が乱れている」で、社会からの影響が子どもに悪影響を与えていることを問題点とする指摘も比較的多くなっています。また、「子どもたちの遊び場が少ない」や「地域社会と子どもたちとの関わりが少ない」といった地域社会や地域環境に対する問題点の指摘も比較的多くなっています。

◆「子育てに関する施策への要望」

- ・「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」が最も多く、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」が、ほぼ同程度の割合で続いています。次いで、「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」「休日保育や一時保育、病児保育など多様な保育サービスの充実」となっています。前記の項目よりは若干割合が少なくなりますが、「子どもの医療にかかる負担の軽減」や「子連れで外出しやすい施設やまちの環境整備の推進」についても比較的多くの市民から要望が出されています。以上のように、いわゆる保育サービスなどといった典型的な子育て支援施策に対する要望とともに多くの市民から子どもの安全に関する項目に対する要望も出されていることが特徴となっています。

◆「食育に対する関心事項」

- ・「生活習慣病の予防や健康づくりのための食生活」が最も多く、次いで、「食品の安全性に関すること」「子どもたちの心身の健全な発育のための食生活」「食べ残しや食品廃棄に関すること」「地産地消に関すること」となっています。

◆「高齢者福祉に対する要望」

- ・「特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護サービスを充実する」が最も多く、次いで、「高齢者の就労機会を充実する」「道路の段差解消やスロープの設置など、高齢者が安心して外出できるまちづくりを進める」「高齢者の経験や知恵が活かせ、ボランティアなど気軽に社会参加できる機会を提供する」「地域の人たちが互いに支え合う仕組みづくりを進める」「高齢者が集える場所を充実する」と続いています。
- ・高齢者を含む世帯別でみると、「特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護サービスを充実する」、「高齢者の健康づくりや健康相談の機会を充実する」に対する要望が、高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯で、全体値よりも多くなっています。

◆「地域福祉に対する要望」

- ・「思いやりの心、やさしい心を育てるなど、学校や地域で福祉教育を行う」が最も多く、次いで、「障害や認知症などの悩みを持つ人への理解のための地域づくりを行う」「助け合いの場や活動についての情報を得やすくする」となっています。

4. 環境

環境は、「環境のための取組の状況」について調査しました。

- ・「地域のごみの分別ルールを守る」が最も多く、次いで、「資源ごみのリサイクル化」「レジ袋等を辞退したり、買い物袋を持参する」「生ごみの減量化に努める」「冷暖房を控えるなど節電を心掛ける」の順となっており、これらの取組みについては、比較的多くの市民が工夫や努力をしています。

5. 防災

防災は、「緊急時の備え」について調査しました。

- ・「非常食や水の準備」が最も多く、次いで、「非常持出品の用意」「家族との連絡方法の確認」「家具の転倒防止」「避難経路・避難場所の確認」の順となっており、比較的多くの市民が災害や緊急時の備えをしています。一方で、「自宅の耐震化や耐震診断の実施」や「地域の防災訓練への参加」に対してはあまり多くありません。
- ・年齢に比例して、災害や緊急時の備えの割合が高くなっています。

6. 生涯学習・文化・スポーツ

生涯学習・文化・スポーツは、「生涯学習の目的」「生涯学習の活動状況と今後の活動意向」「興味のある音楽ジャンル」「市主催のコンサートの鑑賞状況」「鑑賞したことがない理由」「自身の体力の評価」「スポーツ・運動を行う頻度」「スポーツ・運動の阻害要因」「スポーツ・運動の将来展望」について調査しました。

◆「生涯学習の目的」

- ・「自分の人生をより豊かにするため」が最も多く、次いで、「日常生活など暮らしで役立つ知識や能力を身につけるため」となっています。一方、「市民活動などの社会貢献をするため」「自己実現・社会貢献」を目的としてあげる人は、ごくわずかにとどまっています。

◆「生涯学習の活動状況と今後の活動意向」

- ・「現在生涯学習活動を行っている」についてみると、「身体を動かして健康を高めるもの」が最も多く、次いで「趣味として自分の生きがいになるもの」「自らの芸術性を高めるもの」「職業上の知識や技術を修得するもの」となっています。4人に1人の市民が何らかの生涯学習に取り組んでいます。「今後行いたいもの」は、「身体を動かして健康を高めるもの」が最も多く、次いで「趣味として自分の生きがいになるもの」「職業上の知識や技術を修得するもの」「家政に関するもの」となっています。6割弱の市民が何らかの生涯学習をしたいと考えています。このように現在生涯学習を行っている市民は決して多いとはいえませんが、潜在的な生涯学習活動需要はかなり高い状況にあります。

◆「興味のある音楽ジャンル」

- ・「日本のロック・ポップス」が最も多く、次いで、「クラシック」「歌謡曲」となっています。

◆「市主催のコンサートの鑑賞状況」

- ・「鑑賞をしたことがない」が最も多く、次いで、「鑑賞したことがある」「開催していることを知らない」となっています。

◆「鑑賞したことがない理由」

- ・鑑賞をしたことがない理由では、「時間がない」が最も多く、次いで、「企画に魅力がない」「音楽に興味がない」となっています。

◆「自身の体力の評価」

- ・自身の体力の評価では、「普通である」が最も多く、次いで、「不安がある」「自信がある」となっています。
- ・年齢別でみると、「自信がある」は、20歳代が最も多く、次いで、30歳代となっています。

◆「スポーツ・運動を行う頻度」

- ・「スポーツ・運動をした」という市民は過半数を占めているものの、「スポーツ・運動をしなかった」という市民も4割強とかなりの割合を占めています。スポーツの頻度についてみると、「週に3日以上」と「週に1~2日」を合わせた“日常的にスポーツ・運動を行っている”市民の割合は、3割強となっています。

◆「スポーツ・運動の阻害要因」

- ・「スポーツ・運動をしなかった」という市民に対して、主な阻害要因について尋ねたところ、「忙しくて時間がないから」が最も多く、次いで「機会がないから」「年をとったから」となっています。

- ・「忙しくて時間がないから」と「機会がないから」については、男女に共通して多くの割合を占めています。

◆「スポーツ・運動の将来展望」

- ・「健康づくりのための軽い運動」が最も多く、次いで、「いろいろなスポーツが楽しめる地域スポーツクラブ」となっています。
- ・年齢別で見ると、最も多い「健康づくりのための軽い運動」は、60歳代と70歳以上が多く、次いで多い「いろいろなスポーツが楽しめる地域スポーツクラブ」は、30歳代において多くなっています。「個人のレクリエーションや息抜きの運動」については、特に20歳代において多くなっています。

7. 男女共同参画

男女共同参画は、「男女共同参画に関する施策への要望」について調査しました。

- ・「保育所など女性が安心して働くための施設の充実」が最も多く、次いで、「介護の負担軽減のための公的サービスの充実」「子育て後の社会復帰のための職業教育などの充実」となっています。
- ・女性の場合は、介護や保育、子育て後の社会復帰といった、かなり現実的に直面する課題解決に向けた要望が多いのに対して、男性の場合は、地域活動の代表者や行政機関への女性登用や意識啓発といった要望が多いことが特徴としてみられます。

8. 市民参画や協働によるまちづくり

市民参画や協働によるまちづくりは、「市民意見を反映した市政に重要なこと」「市民活動や地域活動への参加状況」「参加している、参加したい活動の種類」「市民活動や地域活動への参加阻害要因」「基本的な地域活動の単位」について調査しました。

◆「市民意見を反映した市政に重要なこと」

- ・「アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実」が最も多く、次いで、「政策づくりの過程からの情報発信や意見募集」「市政情報の公開」となっています。市政についての情報提供とともに、意見を聴く機会の充実が求められているといえます。

◆「市民活動や地域活動への参加状況」

- ・「あまり参加しようとは思わない」が最も多く、次いで、「参加しようとは思わない」となっています。
- ・年齢別で見ると、“参加意向”が最も高いのは60歳代となっています。

◆「参加している、参加したい活動の種類」

- ・「祭りなどの伝統的な行事」が最も多く、次いで、「地域のスポーツクラブ・サークル活動」「地域の趣味・教養のクラブ・サークル活動」となっています。
- ・参加したい活動は、年齢により大きく異なっています。20歳代は「祭りなどの伝統的な行事」、30歳代、40歳代は「子ども会など子育てに関する活動」、50歳代は「行政区や自治会の活動」、60歳代は「地域の趣味・教養のクラブ・サークル活動」、70歳以上は「老人クラブなどの活動」が最も多くなっており、各年齢で特徴が表れています。

◆「市民活動や地域活動への参加阻害要因」

- ・「時間に余裕がない」が最も多く、次いで、「気軽に参加できる機会がない」「関心がない」となっています。
- ・年齢別でみると、60歳代については、他の年齢に比べて「時間に余裕がない」の割合が少なく、「気軽に参加できる機会がない」の割合が高くなっています。他の年齢に比べ“参加意向”も高いことから、気軽に参加できる機会の充実と周知を図ることが、市民活動・地域活動を活発にするためには有効であるといえます。

◆「基本的な地域活動の単位」

- ・「小学校区単位が好ましい」が最も多く、次いで、「現在の行政区単位でよい」となっています。中学校区単位よりもっと大きな単位が好ましい」が最も低い回答となっています。
- ・年齢別でみると、「小学校区単位が好ましい」が全年齢で最も多くなっていますが、年齢が高くなるに従い減少傾向がみられます。次に多い「現在の行政区単位でよい」は、年齢が高くなるに従い増加傾向がみられます
- ・小学校区別でみると、「小学校区単位が好ましい」は五条川小学校区で他の小学校区よりも多くなっています。「現在の行政区単位でよい」は岩倉北小学校区で他の小学校区よりも多くなっています。

9. 多文化共生・平和

多文化共生・平和は、「多文化共生に関する施策への要望」「平和事業に関する周知の状況」について調査しました。

◆「多文化共生に関する施策への要望」

- ・「保育園や学校などで子どもや青少年の交流の機会を増やす」が最も多く、次いで「学校教育における国際理解や言語教育を充実させる」「地域の行事・自治会で交流の機会を増やす」となっています。「文化活動・スポーツなどを通じた市民交流の機会を増やす」や「公共施設の外国語案内や生活情報紙の外国語表示を増やす」についても少なくはありません。

◆「平和事業に関する周知の状況」

- ・「全く知らない」が最も多くなっています。最も知られている平和事業は、「戦没者追悼式」で、次いで、「小中学生を広島・長崎へ派遣する平和祈念事業」「核兵器廃絶都市宣言」「平和に関する映画の上映会」となっています。

10. 行政経営

行政経営は、「岩倉市に求める行政経営」「行政サービスと市民負担のバランス」について調査しました。

◆「岩倉市に求める行政経営」

- ・「職員の意識改革・資質向上」が最も多く、次いで、「公共事業や行政サービスの見直し」「行政事務の効率化」「市民参画・協働のまちづくりの推進」となっています。

◆「行政サービスと市民負担のバランス」

- ・「行政サービスの充実のために、徹底した行政改革により、財源を生みだすべき」が最も多く、次いで、「受益者負担を増やすべきで、市民全体の負担を増やすべきではない」「市民全体の負担が増えるのであれば、行政サービスの充実をある程度見合わせることは仕方がない」となっています。

11. 市政の情報提供

市政の情報提供は、「市政情報提供方法ごとの利用状況」「岩倉市の情報提供への要望」について調査しました。

◆「市政情報提供方法ごとの利用状況」

◇『広報いわくら』

- ・“利用率”は74.3%と高い割合を占めています。
- ・過去調査との比較をみると、“利用率”については、平成20年調査と比較すると5.1ポイント減少しましたが、高い割合を占めています。

◇『岩倉市のホームページ』

- ・“利用率”は17.4%となっています。
- ・過去調査との比較をみると、“利用率”は、わずかですが増加傾向となっています。平成20年調査と比較すると、60歳代以上を除き、すべての世代にわたって“利用率”は増加しています。特に、20歳代は8.4ポイント増加しています。
- ・年齢別でみると、“利用率”が最も高いのは30歳代で、最も低いのは60歳代となっています。60歳以上の“利用率”は、他の年齢に比べて低いのが特徴といえます。「あまり利用したことがない」と「まったく利用したことがない」を合わせた割合は、全年齢において高い割合を占めています。

◇『情報サロン（市役所1階）』

- ・“利用率”は4.8%となっています。「あまり利用したことがない」と「まったく利用したことがない」を合わせた割合は、8割弱と高い割合を占めています
- ・年齢別でみると、いずれの年齢も“利用率”は1割未満と少なくなっていますが、年齢が高くなると若干増加しています。

◆「岩倉市の情報提供への要望」

- ・全体では、「特になし」と「無回答」を除く8.5割の市民が、何らかの情報提供を求めています。「救急医療などの医療機関に関する情報」が最も多く、次いで、「いろいろな災害に備えるために必要な情報」となっています。このように、生活における安全や安心に関する情報の提供を求める割合が多くなっています。次いで、「行政が行っている施策や計画に関する情報」や「市役所の業務や行政の様々な手続きに関する情報」といった市政情報や行政サービスの手続き等に関する情報提供となっています。また、「ごみの収集日や地域の行事などの暮らしの情報」や「公共施設の利用方法や利用時間などに関する情報」といった、日々の暮らしに関わる行政サービス情報の提供に対する要望も比較的多くなっています。
- ・過去調査との比較をみると、前回調査とほとんどの項目において、わずかながら減少しており、「救急医療などの医療機関に関する情報」の減少が最も大きく10.2ポイントとなっています。
- ・年齢別でみると、最も多くの市民から望まれている「救急医療などの医療機関に関する情報」について

は、20 歳代において少なくなっていますが、年齢が高くなるに従い多くなっています。「いろいろな災害に備えるために必要な情報」については、40 歳代で最も多く、20 歳代で最も少なくなっています。「行政が行っている施策や計画に関する情報」についても、40 歳代で最も多く、20 歳代で最も少なくなっています。「市役所の業務や行政の様々な手続きに関する情報」については、50 歳代で最も多く、20 歳代で最も少なくなっています。「ごみの収集日や地域の行事などの暮らしの情報」については、30 歳代で最も多く、70 歳以上で最も少なくなっています。「育児講座など子育てに関する情報」については、子育て中が多い 20 歳代、30 歳代において他の年齢よりも際立って多くなっています。「学校行事などの子どもに関する情報」については、30 歳代において他の年齢よりも際立って多くなっています。

資料編

自由意見の回答結果〈岩倉市のまちづくりについての意見〉

1. 都市基盤	件数
◆道路等	106
駐車場の整備、拡充をしてほしい（市民プラザ・図書館・保健センター等）	18
歩道・自転車道を整備してほしい	13
幅員が狭い道路が多い、整備してほしい	9
雑草や障害物などが、交通の妨げとなっている	9
道路が凸凹している、利用しにくい、危険である	7
駐輪場の整備、拡充をしてほしい	6
一方通行が多い	3
道路など草取りや清掃をしてほしい	3
小牧から一宮に抜ける道路整備の充実	2
緊急時に消防車や救急車が通れるよう整備してほしい	2
交通渋滞を解消してほしい	2
交通量の多い場所への歩行者用の信号の整備	2
横断歩道・停止線等が消えかけている	2
側溝（用水路）等にふたをしてほしい	2
側溝のふたが固定されていない	2
側溝のヘドロ等、悪臭を改善してほしい	2
道路の舗装を公平におこなってほしい	1
道路整備の予算を拡充してほしい	1
道路の舗装状態の改善（工場跡地などから住宅になった地域）	1
新たな住宅地にはしっかりとした道路整備計画を立ててほしい	1
ピアゴと線路の間の道路が危険を感じる	1
線路と道のガードレールが低い、事故防止のためフェンス等必要（大山寺駅周辺）	1
道路整備は、定住者の増加にはならない	1
必要のない道路工事はしないでほしい	1
生活に必要な道路は私有地でも整備・舗装をしてほしい	1
道路整備を早めにすすめてほしい（一宮春日井線・北島藤島線）	1
国衙公園横の橋が早く竣工することを願います	1
稲荷町の道路（高架）建設工事はいつ終わるのか	1
タイルが剥がれたままの歩道の改修をしてほしい	1
駐車場が整備、拡充されてよかった（図書館）	1
駐輪場に人を配置する	1
右折専用レーンを整備してほしい	1
道路標示・交通案内が少ない、整備してほしい	1
南北の道路にも「止まれ」の表示をする	1
交通量が少ない夜など、大型トラックがスピードを出すため、家に振動がきます。対策をしてほしい（大地町・県道）	1
信号が多すぎると危険な場合もある	1
側溝を直してほしい	1
側溝の水はけが悪く、悪臭も強いので改善してほしい（石仏地区）	1

◆公共交通	18
バス路線の充実	9
病院へ向かうバスの充実	3
鉄道環境の充実	1
名鉄線路の高架の検討	1
公共交通機関がなく不便である	1
名古屋駅へのアクセスが容易である	1
駅の近くに住んでいるので交通の便がよい	1
名鉄の本数が少なく不便である	1

◆下水道	9
下水道の整備を行ってほしい	5
下水道の工事を行わない家庭への指導	2
下水道の工事が延期になったことに対して連絡がなかった	1
整備計画についてインターネットの情報がわかりにくい	1

◆公園	11
公園の整備・充実	4
公園に幼児の遊べる遊具の充実（砂場等）	2
大きな公園がほしい	1
子どもから大人まで利用できる公園の整備	1
スケートボード、ローラーブレード専用の公園の整備	1
非常用トイレ、非常用飲料水利の整った災害避難公園	1
のんびりできる空間がほしい	1

◆都市整備	40
駅周辺の活性化（賑わいがいい、さびれてみえる）	7
図書館の改修・整備（老朽化等）	5
石仏駅の東側に改札口を設置してほしい	3
名草線の西側地域の発展	2
岩倉駅周辺に、夜遅くに買い物できる場所があるとよい	2
廃ビルの取り壊しをしてほしい	2
保健センターの改修・整備（老朽化等）	2
行政主体で、商工業振興策、駅前の活性化策を望みます	1
石仏駅を有人改札にしてほしい	1
石仏駅にエレベーターを設置してほしい	1
岩倉駅南側地下道の整備（雨がしたたる、緊急ボタンの作動）	1
駅前の整備（大山寺駅前広場）	1
岩倉駅東口が今後どのように変わるのか知りたい	1
駅前に商業施設の誘致	1
駅周辺にコンビニ、薬局、歯医者が多い	1

駅前が大変きれいになりました。感謝しています	1
駅のトイレをきれいにしてほしい	1
駅前を禁煙にしてほしい	1
街路樹は自然のまま大きく育ててほしい。(本数は必要ない)名鉄岩倉駅ロータリーの樹木管理が愛知県でもトップだと思われま	1
携帯の基地局を人の少ない場所へ移転してほしい	1
岩倉市営の墓地がほしい	1
児童館の改修・整備(老朽化等)	1
公共施設が駅の西側に偏っており不便である	1
屋台のようなオブジェを撤去してほしい(うお初横)	1

2. ごみ・公害等	件数
◆ごみ	36
利用しやすいリサイクル回収ボックスの設置等(市民が協力しやすい体制づくり)	4
ごみの出し方のマナーが悪い	4
ごみの回収頻度が少ない(缶・不燃・ペットボトルなど)	2
ごみ袋の種類を増やしてほしい(中サイズ)	2
ごみの不法投棄(マナーの悪さ)に困っている	2
分別収集をわかりやすくしてほしい	2
ごみの回収頻度が少ない(プラスチックを週2日)	1
ごみの回収頻度を増やしてほしい(夏場の生ごみ)	1
ごみの回収場所が少ない(遠い)	1
分別収集の回収を利用しやすくしてほしい(一般のごみの日に出せるとよい)	1
家庭用廃品の手軽な搬出ができるとよい	1
生ごみを肥料にする講座があるとよい。また、ごみ処理機の補助金を増やしてほしい	1
年末年始もごみの収集をしてほしい	1
マナーの問題とはいえ、ごみを回収しないのは困る	1
ごみ収集のあいさつや対応が素晴らしい	1
回収場所で、分別収集を手伝ってくれる方々がやさしくて素敵です	1
回収場所の地図がわかりづらい	1
住民登録の際に、ごみ袋をいただいたことは良かったのですが、ごみ出しの説明が少ない	1
粗大ゴミの有料収集(1,000円)を安くしてほしい	1
ごみの出し方のマナーが悪い(外国人)	1
ごみ袋が小さい	1
ごみの収集が町によって差があり不公平である	1
身障者で、ごみを捨てるのがむずかしい(戸別収集)	1
ごみ袋を持ち上げることがつらい	1
ごみの不法投棄を直接監視してほしい	1
田畑等にごみが落ちている	1

公害等	6
野焼き（ごみの焼却）について対策・取り締まってほしい	3
工場の排気について調査をしてほしい	1
住宅地に資材置場があり、重機により騒音、排気ガス、ほこり等あり環境に悪い	1
名鉄のアナウンス等が騒音となっている	1

3. 安心・安全	件数
◆防災	9
家屋が密集している地域の防災	1
防災等に関する提案をしたが、予算がないと言われた	1
水害対策をしてほしい	1
水害対策は充実していると思う	1
五条川を渡る橋（南部中学校の南）の下、通行禁止の立札とくさりがあるが増水時等の水位も考慮して設置すべきである（危険）	1
電線に木がかかっており、台風時の被害を心配している	1
賃貸住宅についても、耐震診断を実施すべきである	1
耐震工事のための融資をしてほしい	1
ハザードマップを見たことがない。周知することで防災意識が高まると思う	1

◆防犯	58
街灯が少ない、増やしてほしい	10
警察署・交番の設置	9
路上駐車が多い・取締りをしてほしい	9
駅周辺の治安に不安がある	4
外国人が多いことで治安の悪化を懸念している	4
盗難被害に遭ったことがある。安心して住める街づくり	3
夜道を安心して通行できるようにしてほしい	2
小学校からの不審者情報メールが多い。防犯について見直しをしてほしい	2
一時停止をしない車の取り締まりをしてほしい（駅西側）	1
防犯カメラの設置	1
防犯対策費用（センサーライト、二重サッシ等）の助成	1
防犯対策の強化をしてほしい	1
車上荒らしの対策に定期的な見回りをしてほしい	1
パトロールや指導を強化してほしい（騒音）	1
パトロールを見たことがない。実施しているのか	1
夜間のパトロールが必要である	1
自転車・歩行者専用道路を一般車が走行するので取り締まりをしてほしい（本町）	1
暴走族の取り締まりをしてほしい	1
地域の住民同士が交流することで安全なまちづくりをする（通学路に花壇、水遣りボランティアなど）	1
神社の木が防犯上よくない状態だと思うので検討をお願いしたい	1
犯罪の少ないまちにしてほしい	1

近所に独りで住んでいる精神病患者が暴れることがあるが交番もなくどうすればよいか	1
交番の廃止について、行政の考えを知りたい	1

4. 産業振興	件数
◆農業	6
農業の活性化（休耕地の活用や後継者の育成）等について行政の指導	1
農地の保全・農地の改革をしてほしい	1
耕作放棄地を家庭菜園として借りることが容易になるような体制づくり	1
田畑が住宅地になることがさみしい	1
地産地消の推進	1
農地の雑草をとり、きれいにし、景観を保ちたい	1

◆商業等	17
商業施設の誘致・充実	11
店が少ない	5
企業誘致を図る	1

5. 観光・交流等	64
イベントの企画・実施	5
い〜わくんで岩倉市のPRをしてほしい（すべきである）	4
五条川の桜まつりや桜並木のPR	3
岩倉市のPRをしてほしい	3
レジャー施設の充実	2
桜まつりの露天商の出店の制限（桜を傷つけている）	2
桜の時期に、岩倉市の魅力をPRする	2
い〜わくんをPRしてほしい	2
い〜わくんのフェイスブックで岩倉市の情報が身近に感じられて良い	2
い〜わくんが好きではない	2
レジャー施設の充実（公共施設）	1
桜まつりの際に、イベントのPRをする	1
桜まつりのライトアップが少なくなったことがさみしい	1
桜まつりの日程を桜の開花状況で毎年変更できないでしょうか	1
桜まつりの時、路上駐車が多すぎるので対策を考えてほしい	1
桜まつりの時の彦太橋周辺の交通整理人員を増やしてほしい	1
桜まつりの際、ベンチやごみ箱を増やしてほしい	1
一部地域ではなく、全体が参加しやすいまつりにしてほしい	1
桜まつりを市民のまつりにしてほしい	1
今年の夏まつり市民盆踊りはとても活気があってよかった	1
稲荷の盆踊りをPRしてほしい	1
岩倉市のメイン行事のPR（マラソン大会等）をしてほしい	1
岩倉市に人が集まるように（桜以外にも）名所をつくる。岩倉城があってもよい	1

桜以外にPRするところが思い浮かばなくて残念である	1
岩倉城が城跡の表示のみなのが残念である。資料館等を検討してほしい	1
岩倉といえばここだといえるような横丁や屋台村があると活性化になるのではないか	1
い〜わくんの名前募集で、岩倉市に親しみがもてた	1
い〜わくんの妹がほしい	1
い〜わくんがかわいい	1
い〜わくんグッズを充実させて、親しみをもてるアイドルにしてほしい	1
い〜わくんもっと有名になってファンが増えて欲しい	1
まちがコンパクトなため、イベント時（桜まつり・盆踊り・マラソン大会・ふれあいまつり等）市長とふれあう機会が多く、行政を身近に感じられる	1
まちづくりのビジョンを市民にPRする。（スポーツ・文化・健康とテーマごとなど工夫をする）市が主催しているイベントや取り組みのときに積極的にアピールするとよい	1
市の行事を行う際に、名古屋コーチン等、食に関するPRをしてほしい	1
秋・冬に有名なイベントがないため、イベント等の企画をするとよい	1
五条川のマラソンを復活してほしい	1
フリーマーケットの開催回数を増やしてほしい	1
地区サロンコンサートを定期的実施してほしい	1
全日本サイクリング大会や全世界サイクリング大会を開催する	1
岩倉駅の音楽コンサートの開催回数を増やしてほしい	1
市の主催する講演やコンサート等の抽選方法を（1割をボランティア活動をしている方を優先するなど）検討して下さい	1
小中学校でPTA役員等を務めた方に、市の行事への参加をお願いできるとよい。（よい意見が出てくるのではないか）	1
足腰が悪くイベントに参加できない	1
イベントの参加者が同じである	1
夏祭りに花火はなくてよい	1
夏祭りの花火は以前のようなものにしてほしい。高校生、大学生が参加しやすいような行事などがあると良い	1
安全で魅力あるウォーキングロードマップ（パワースポット）の作成	1

6. 保健医療	36
市民病院があるとよい	19
健康診断の助成の拡充	2
最先端の医療設備の整った病院の誘致	1
終末医療の充実	1
小児科の診療所を増やしてほしい	1
休日診療の充実（薬の相談）	1
健康診断の時間の短縮（子ども）他市では、もっとスムーズに終わる	1
特定健康診査の待ち時間が長すぎる。予約制にしてほしい	1
健康診断が40歳以上になったことに不満を感じている	1
がん検診の年齢制限を緩めてほしい	1
健康診断で他地域の病院を選択可能とする	1
健康診断の土日の実施	1

乳がん検診の担当医は女性にすべきである	1
高齢者の健康診断がとても親切で熱心なことがよい	1
予防接種の助成	1
医療費の助成（高校3年生まで）	1
市民生活には健康が第一です。健康である程度の文化的生活が出来なければどんな施策も参加できず意味がありません。	1

7. 高齢者福祉・介護	20
高齢者が集まる場所づくり	3
交通弱者に対する支援の充実・広報による情報の周知	2
さくらの家を利用していますが、過剰サービスだと感じている	1
高齢者の配食サービスの充実	1
デマンドタクシーはうれしいです	1
買い物難民を出さないための対策	1
高齢者の健康維持（介護予防）の推進・体制づくり	1
高齢者福祉の充実	1
高齢の独居世帯に対する支援・サポート体制の充実	1
高齢者が集まる場所づくり（うたごえ喫茶会場の確保）	1
高齢者の自助努力を促進する	1
老人（敬老の日）の催事は、移動手段のない高齢者が参加できない。高齢者が増えているので、粗品について年齢制限を設けるとよい	1
介護保険の認定調査を厳格に行ってほしい	1
福祉用具のリユースを検討する	1
高齢者が気軽に立ち寄れる喫茶店や食堂、安価なフィットネス利用券の配布があれば参加したい。	1
高齢者の在宅を実現できるような日常生活サポート（ごみ出し・通帳管理・病院等）事業が充実するにつれ、人々の協力意識が希薄になっている	1
老人クラブの名称を高齢者クラブ等に変更してほしい	1

8. 児童福祉・子育て支援	56
学童保育の充実	11
保育施設の充実	8
子育て環境の充実	6
子育ての手当の充実	4
子どもが遊べる場所がほしい	4
保育施設の利用料金が低い（民間）	2
助成金や補助金等が他市町と比較して遅れている	2
母親への子育ての指導をしてほしい	2
保育園・学校に冷房の設置をしてほしい（猛暑対策）	2
子育て支援センターの充実	2
子を持つ母親同士の交流ができる場の充実	2
幼稚園の第3子以降の無償化	1
出産、育児休暇中を理由の退園を改善してほしい	1

教職で土曜日に部活動等の指導があるが、勤務時間外扱いで預けることができないことについて対策をしてほしい	1
住宅の共用スペースを子どもの遊び場として認めてほしい	1
長瀬公園の蜂が心配です	1
つどいの広場が、保育園ではなく各児童館にあるとよい	1
子育て支援サークル活動の援助をしてほしい	1
保健センターの行事を楽しみにしています	1
幼児の子の声がうるさいと注意を受けて、周囲を気にする毎日で精神的につらい	1
婚活支援の充実（少子化対策）	1
母親は子が成長するまで育児に専念するほうがよい。そのための子育て支援	1

9. 障害者福祉	4
障害者福祉の充実	1
障害児（者）重複心身障害児者等の通所施設が無く、近隣の市の施設を利用している。市内で日中サービスが受けられるとよい。	1
子どもに障害があり将来に不安を感じている。障害者（児）福祉の充実をしてほしい。	1
障害者の移動支援について、公共交通機関がないため利用できない。都会と田舎の差を考慮してほしい	1

10. 生涯学習	43
プールがほしい（温水）	10
スポーツ施設・スポーツジム・スポーツが出来る場所	4
図書館の本を充実してほしい	4
文化・芸術の充実（美術館の設置等）	2
プールがなくなって残念である	1
スポーツ施設・スポーツジム・スポーツが出来る場所（子ども達が野球できる場所等）	1
スポーツセンターの充実	1
体育館のスタジオの有効利用（個人で参加できるプログラム）	1
市営パターゴルフ場（ゲートボール）があるとよい	1
町対抗のフットサル大会があるとよい	1
図書館の本を充実してほしい（子ども向け）	1
図書館を充実してほしい（参考：一宮市）	1
図書館の資料を充実してほしい	1
図書館でDVD視聴ができるとよい	1
図書館の本で禁帯出が多い、他の市町では館外利用ができる	1
新刊等は図書館で揃える必要はない。自費で買えばよい。古書を大切にしてほしい	1
予約した本の行き違いがあったが、とても良い対応で好感がもてました	1
図書館で幼児の泣き声が気になる。母子室があるとよい。	1
図書館の閲覧のスペースが狭い	1
岩倉文化小劇場を創ってはどうか	1
生涯学習センターの遊具が少ない	1
生涯学習センターのサークルの数を増やしてほしい	1

生涯学習センターは駅に近く利便性も良いが、総合体育文化センターは不便。催事の時に会場へのバスがあるとよい	1
生涯学習センターの手続きが不便である。簡易にしてほしい	1
生涯学習センターの有効活用（立地、施設）から異文化交流セミナー等の積極的な活用プランを検討。また生涯学習センターの駐車場の無料化。	1
児童館の利用について、金曜日・月曜日が祝日、休日の場合、連休扱いとなり土曜日に借りることができないので、借りられるようにしてほしい。7月まで冷房を入れてはならないが、気温に応じて利用できるよう検討してほしい	1
市内の公共施設が、企業や団体に対して不親切である	1

11. 学校教育	14
小学校の人数に偏りがある、学校区の見直しをしてほしい	3
小・中学生の体力向上等のため、部活動に力をいれてほしい	3
いじめや自殺について、教育に力をいれてほしい	1
駅に集合して登校するのはやめてほしい	1
子どもの国語力を高める取り組み	1
学校（教師）と家庭との連携を密にする	1
「子育てのまち」として、小学校や中学校が愛知県のモデル校になるとよい。学習能力の向上と、スポーツで体力の向上を行い、アピールをする（人口の増加にもつながる可能性があります）	1
児童の学力・体力向上（日本一になれば、市民として誇らしく感じる）	1
教育現場で、体罰等の問題がないか気になっている	1
小学生が放課後、気軽に過ごせる・立ち寄れる場所（ボランティアが勉強をみたり、相談にのる）	1

12. 環境	12
五条川の桜並木の保全（枯れ枝等最近状態がよくない）	2
脱原発を唱え、平和を追求する都市であり続けてほしい	1
太陽光など自然エネルギーを活用など（市で）電力事業を検討	1
市民の美化意識の向上	1
クリーンアップ岩倉などは、市全体（広範囲）で活動してほしい	1
五条川に蛍が生息するとよい	1
環境保全のためにも、除草剤の使用はやめてほしい	1
五条川沿いの土手に菜の花を植えてみてはどうでしょうか	1
五条川の土手のそうじ、草刈り	1
春にイネ科の草でアレルギー性鼻炎になる人が多いので花が咲く前に刈ってほしい（五条川堤防）	1
緑あるまちづくりをしてほしい	1

13. 地域コミュニティ	17
住民がともに過ごす空間（世代で隔てず、関わりを持てるようにしてほしい）	2
地域のことをしない等、外国人に協調性がない	2
外国人への日本語教育・講座等の継続	1
外国人との交流を図る	1
外国人との付き合い方や生活習慣等の違いを考える必要がある	1

岩倉市では住民同士があいさつをしない	1
地域行事に参加しない人（できない人）との交流がむずかしい	1
溝掃除に参加しない家庭があり、不公平である	1
ボランティア活動費の見直しと活動費用の公開	1
シルバーの人材活用の検討（保育、学童保育）	1
シルバーの人材活用の検討	1
公園の草取りやゴミ拾い、トイレ掃除を小学生や中学生がするとよい	1
町内会の行事が多く、自治会や神社などの寄付金が多い。町内会費も高い	1
転入者（転勤族）だが、町会費の用途を公開してほしい（広報紙のみを強制的に購入させられている気分になる）	1
行事の寄付金が、年々上がっており、転入者が困っている	1

14 就労	3
就業先が少ない	1
岩倉市にA型作業所をふやしてほしい	1
企業を誘致して仕事をふやす	1

15. マナー・モラル	28
自転車のマナーが悪い。改善してほしい	6
外国人のマナーが悪い	5
交通マナーが悪い（大人が手本となるように改善）	2
たばこのマナーが悪い。取り締まりをしてほしい	2
ペットに関するマナーが悪い	2
ごみのポイ捨てをする人がいる	2
スピードの出しすぎている自転車が危険である	1
登下校の時間帯、通学路の自動車の走行を規制する	1
このまちのドライバーは、自動車優先の走行をしている	1
マナーについて啓発週間を設けてほしい	1
隣家の草木等が、塀を越えてきている。どうしてよいかわからない	1
住民のマナーがよくない	1
騒音等の迷惑行為について、対策をしてほしい（回覧・広報等）	1
早朝に草刈機を使用する人がいて、騒音で困っている	1
未成年の夜遊び取り締まり。親の教育をする。	1

16. 市政・まちづくり	件数
◆情報提供	22
広報は、月1回の発行で十分である	6
広報は希望者のみの配布でよい	1
空き家や空室に広報を配布するのはごみとなるのでやめてほしい	1
広報のカレンダーに図書館の休館日の情報を載せてほしい	1
広報に施設の利用率等を掲載してほしい	1

市長の公約を広報等別紙で示してほしい	1
選挙広報が家庭に届くのが遅い	1
相談窓口の情報や案内を広報に掲載してほしい（高齢者）	1
広報について、福祉関係の情報（子育て・健康相談）が充実していて素晴らしい	1
医療福祉について情報の周知ができていない	1
インターネットばかりでなく、幅広い方法で情報を提供してほしい	1
行政・市政の情報をもっと公表してほしい	1
店や施設に授乳室・おむつ交換台・ベビー用カートなどの設備に関する情報（マップ）がほしい	1
駅でのチラシ配布等で、市政活動の情報公開。税金の用途についてわかりやすく提示してほしい	1
情報サロンのパソコンの台数を（2台以上）を増やしてほしい	1
「市政の情報提供」については内容の充実よりも方法を考えて欲しい	1
岩倉市が何をやっているのか情報が全くわからない	1

◆相談体制	4
家族が病気になった時の相談機関の整備	1
無料相談所をつくってほしい。成人相談日はありますが、日程の都合が合わないので、電話相談ができるとよいです	1
いじめや自殺について、相談者のプライバシーを重視した相談場所の設置	1
高齢者に対する、相談場所の周知	1

◆財政・税金	47
住民税が高い・安くしてほしい	11
企業誘致・商業施設の誘致による税収入のアップを図る	7
無駄な公共事業の削減	4
税を払っている恩恵を感じづらい	3
財政の健全化	3
税金を有効活用してほしい（大切にしてほしい）	2
有料駐輪場を作って財源にして管理するとよい	1
税金が近隣市町村と比較して高い。平均額にしてほしい	1
住民税を小牧市と同じ額にしてほしい	1
県市民税の軽減	1
税金を払いたくない	1
受益（権利）と納税（義務）のバランスの上で企画をし、無駄を省くこと	1
税金の用途を考えてほしい。道路の石像は、必要ない	1
税金の用途を考えてほしい。投票の際のしおり、年末のカレンダーは、必要ない	1
税金の用途を考えてほしい。交流施設が多すぎる	1
税金の用途を考えてほしい。選挙時のヘリコプターは、必要ない	1
多文化共生の政策に税金を使って欲しくない	1
子育て中心の政策に税金を使って欲しくない	1
市の財政状況（借入金、支出が多い）悪いのに建物が多すぎる。学校の耐震工事が遅れているなど優先順位（工事、予算配布）がかたよっている	1

岩倉市は財政力が不足している。しかしマイナス面を補える+αを作り出すことは可能です。安定的な市政のためには、難しいことですが、強いビジョンが不可欠だと思う	1
岩倉市の財政健全化のために、市民からの意見の募集	1
受益者負担による経費の削減	1
市の公共事業について、特定の業者に発注するのはやめてほしい。市の財政のために節約をしてください	1

◆職員	32
市役所の職員の対応が良い。好感がもてる	5
市役所の職員の言葉づかい。態度に問題がある	4
市の職員数の削減	3
議員数の削減	3
市役所の職員の対応が悪い	3
市役所の職員の対応が悪い（質問に答えることができない・答えない）	2
友人が母子世帯となり手当の申請に行ったところ対応が酷かった	1
市役所の職員の対応が悪い（高齢者の窓口・電話で長く待たされた）	1
市役所の職員の対応が悪い（同じ課だが部屋が違うと対応してくれなかった）	1
能力のある職員の登用	1
市役所の職員の意識の改革	1
市役所の職員の意識が低い（市長の意向に沿っていない）	1
市長、議員の給与の削減	1
議員の活動について情報がほしい	1
市議会議員が会議中居眠りしている	1
総合体育文化センターの受付が暗い	1
保健センターの職員の対応が悪い（あいさつをしない）	1
くすのきの家の職員の対応が良い。好感がもてる	1

◆手続き・申請等	4
手続き・申請の利便性（土日）	1
手続き・申請の利便性（複数の窓口へ行かなくても済むようにしてほしい）	1
手続き・申請の利便性（時間帯）	1
母子手帳の交付について、木曜日限定でも良いが、時間帯ぐらいは選択できるとよい	1

◆アンケートについて	68
該当しない項目等があり、回答ができない（むずかしい）	10
むずかしい質問が多く、アンケートがわかりにくい	7
アンケートの量が多すぎて負担を感じる	5
転入してきたばかりで回答がむずかしい	4
アンケートの返送が遅くなりました	4
高齢のため、アンケートの回答がむずかしい。対象者を考えてほしい	3
アンケートの実施は良いことだが、アンケートの量が多すぎて負担を感じる	2
地域にいる時間が短く回答がむずかしい	2

岩倉市の施策に詳しくないため、回答がむずかしかった	2
アンケートに回答することができてよかった	2
アンケートが頻繁に届いて困っている	2
アンケートをしても、行政はかわらない	2
市民委員登録希望はがき在中の封筒は、無駄である	2
アンケートの量が多すぎて負担を感じる。回答も的がしぼれないのではないか	1
深く考えたことがなく、回答がむずかしかった	1
岩倉市民の意向調査の実施は良いことだと思う	1
アンケートの実施はよいことである、変えなければならないことが多くある	1
アンケートの到着が遅かった	1
調査は良いが、紙の無駄使いだと感じる	1
岩倉市全体となると、アンケートの回答がむずかしい。地域懇談会こそ大切な意見交換の場と考えます	1
心に余裕がないのか、回答できなくなりました	1
アンケートの回答率（回収率）、調査の有効性が気になる	1
返信用封筒のバーコードは個人を特定するものなのかと意識してしまう	1
アンケートの調査内容に、税金（納税）に関する設問が不足している	1
調査結果を知りたい（インターネット）	1
町内の市長さんとの懇親会では、意見を出しづらい空気があったので、今回調査に参加できて良かった。いろいろな年代の人から意見をきく機会を増やし、岩倉に住んでよかったと思える人が増えるようなまちづくりをしていてもらいたい	1
完全無作為ではなく、偏らないよう調査を実施すべきである	1
アンケートを通して、岩倉市について知らないことに気づいた。今後、まちのために役立つことを1つでもしたい	1
本人が居ない為、代筆しました。体力的に眼が疲れて余りに長すぎる用紙への記入もちょっと手こずりましたが、市長さんの岩倉市への想いがよく解り、これからは私も出来る限り市民の一員として改めて、考え、暮らしてゆくつもりです。	1
アンケートに、市の歳入・歳出及び市職員の給与を記載すべきである	1
転出予定のため、よい回答ができませんでした	1
アンケートの粗品は、い〜わくんグッズがよかった	1
アンケートお疲れ様でした	1
アンケートの主旨が理解できない	1

◆まちづくり等	64
住みやすいまちだと感じている	6
他市町との合併の検討	5
住みやすいまちになったと感じている。今後も期待している	2
乳幼児を持つ母親ですが、住みやすいと感じていますが、小学校・中学校の児童、生徒への課題はあります	1
コンパクトシティの魅力を損なわないよう施策をすすめてほしい	1
子供が安全に過ごせる市を希望しています	1
小さな市に限られた財源の中で出来る事は高望み出来ないが、近隣に劣るのを良いとは出来ない。住民のパワーの活用・広域行政を効率よく組込むなど積極的な展開を望みます	1

住みよい岩倉市をみんなで作っていきましょう	1
市民活動団体、地域組織、行政の3者が小学校区別にそれぞれの団体、組織、行政から1区域に3名~4名選出し、仮称「住みやすく楽しいまち・岩倉」推進委員会を岩倉市全体で5チーム作り、それぞれに何をしたら良いか毎月1回程度検討する。期末には仕上げとして、全体でフォーラムをやり、来年度の進むべき道を明確にする（中学生グループも作っては）毎年メンバーを変えて実施する	1
副市長、招へいによる第2期片岡市政に期待している	1
子どもたちが笑顔で暮らせるまち、GNPを意識したまちづくり	1
区長、市議員等が地元の地域住民の意見を参考にできる体制ができていない。地域のつながりが希薄になっている	1
市から町に戻してはどうでしょうか	1
高齢化に伴い、荒れた農地が増えると思う。岩倉市の南側を市街化し、“ベットタウン岩倉”としてほしい	1
五条川を中心とした「福祉の町」と「観光」「いやしの街」を強力に絞っておすすめて欲しい。そのためには、公的負担のみではダメだから市民の負担をお願いする。森林公園的な「健康」と「いやし」の街づくりを呼びかければ市民は負担に応じると思う	1
市役所の建物が立派すぎる	1
市民の声を施策に反映してほしい	1
高齢者向けのまちづくり若者がいなくなるだけではないでしょうか	1
消費センターの担当を決めてほしい	1
大都市でないのが魅力だと感じている	1
住みよい岩倉市づくりをお願いします	1
活気あるまちづくりをしてほしい	1
若々しく生き生きとした町づくりについて、市の考えを聞きたい	1
活気あるまちづくりをしてほしい	1
施設の入浴について、（特別な場合をのぞき）個人の負担を検討してほしい	1
市役所や図書館に備えられている提案や意見用の用紙を用いて発信できることが良いと思う。	1
総合体育文化センターにカフェがほしい	1
岩倉市の少ない土地を有効活用し、活性化してほしい	1
市として独自のサービスを何か考えてほしい。小さな市らしく少数の要望にも、応えてくれると本当に助かる	1
住みよい岩倉市づくりをお願いします	1
ご苦労さまです。住みよい岩倉市づくりに頑張って行って下さい	1
個性あるメッセージが配信できるまちづくり	1
環境がよく美しい町づくりを願います	1
よりよい岩倉でありますように	1
岩倉は愛着のあるまちです。肩の力を抜いていい意味で程ほどのまちづくりができるといいと思います	1
公道を占拠している商店について、対応をしてください（以前にも匿名で連絡しました）	1
街を良くしたい	1
市民全員参加の健康づくりなど、全国のモデルケースになるような活動があるとよい	1
地域猫活動を活発にしてほしい	1
小さいけど、いいまちだと思います！！これからもより住みやすく暮らしやすいまちづくりをお願いします	1
子どもやお年寄りにやさしい町になってほしい	1
百年後のビジョンを示し、賛同が得られれば、その実現に向けて邁進してほしい	1

行政サービスや環境づくり、高齢化にともなうサービスの向上もいいが、岩倉市民1人1人の意識も向上できるように取組を行ってほしい。他の市町村を転々としているが、いままで一番住みにくいです。どんなにまちづくりに力を入れても、その土地に住んでいる人々の心が閉鎖的ではうまくいかないこともあると思います。	1
近隣都市との交流	1
町の活性化について成果を感じません。再考をお願いします	1
「自治基本条例」の可決に納得していない。外国人参政権は認めてほしくない	1
このアンケートに答えを記入して自分でも「まちづくり」についてあまりきちんと考えていない（考えがまとまっていない）ことが多いことに気がついた。住む人全員100%満足することは、むずかしいと思うが少しでも多くの人が少しでも気持ち良く生活できるようになれば良いと思う	1
まちづくりのビジョンが明確ではない。実行できる人材がいるだろうか、役所内から変えてほしい	1
子育てのまち、老人の余生のまち、安心して暮らせる、清潔で美しいまち、人にやさしいまちは続けていてほしいと思っています	1
“さくら”だけでなく魅力ある町になることを期待します	1
カレンダーの質が悪くなったので、元に戻してほしい	1
市役所等と、もっと身近に接することができるように	1
住民（区ごと）との直接ミーティングを考えられ市民とのつながりをより深めていただいたら、如何でしょうか	1
自然と動物とが、人間と共存出来る市。高齢者、障害者、外国人がみんな安心できる市であってほしいと思います	1

岩倉市市民意向調査

ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

岩倉市では、平成23年3月に第4次岩倉市総合計画（平成23年度～平成32年度）を策定し、多様な縁で創る「役立ち感」に満ちた市民社会をめざしたまちづくりを推進しています。

このたび、今後の市政を進めていくに当たり、これまでの市政全般の成果を検証し、今後の市政運営に反映するため、市民の皆さまのお考えやご意見をお伺いする「岩倉市市民意向調査」を実施します。

調査対象は、市内にお住まいの満20歳以上の方の中から、無作為に選んだ4,000の方です。この調査は無記名形式で行い、ご回答いただいた調査票から個人が特定されることはありません。調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。本調査の結果は、広報等で市民の皆さまにお知らせします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成25年8月 岩倉市長 片岡 恵一

ご回答に当たってのお願い

●ご記入の際に

- 1 封筒の宛名のご本人がご記入ください。
- 2 事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方でお答えください。
- 3 ご回答は、質問ごとの説明に従い、このアンケート調査票に直接ご記入ください。

●調査票の返送について

無記名のまま同封の返送用封筒に入れて、8月30日（金）までに郵便ポストへ投函してください。

●調査についてのお問い合わせ

岩倉市総務部企画財政課企画政策グループ（市役所5階）

TEL 0587-38-5805（直通）

FAX 0587-66-6100

E-mail kikakuzaisei@city.iwakura.lg.jp

1	あなたやご家族について
---	-------------

問1 あなたの性別を教えてください。【○は1つだけ】

- | | |
|---|----|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |

問2 あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-------|
| 1 | 20歳代 | 3 | 40歳代 | 5 | 60歳代 |
| 2 | 30歳代 | 4 | 50歳代 | 6 | 70歳以上 |

問3 あなたのお住まいは、どの小学校区にありますか。【○は1つだけ】

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|--------|
| 1 | 岩倉北小学校区 | 3 | 岩倉東小学校区 | 5 | 曾野小学校区 |
| 2 | 岩倉南小学校区 | 4 | 五条川小学校区 | | |

●校区(※校区が分からない方は、下表で番号を確かめてください。)

あ行	旭町		→ 2
	石仏町	岩塚・島海道・五山寺・たりの一部(14~52番地)	→ 1
		上記以外	→ 4
	泉町		→ 1
	稻荷町	大摩、細畑、樋先、高畑、半田の一部(新堀用排水路より西側)	→ 2
		上記以外	→ 5
井上町		→ 4	
か行	神野町		→ 4
	川井町		→ 2
	北島町		→ 2
	五条町		→ 5
さ行	西市町		→ 1
	栄町		→ 1
	下本町	西沼	→ 2
		燈明庵	→ 3
		上記以外	→ 5
	昭和町	1・2丁目 (行政区 下本町)	→ 2
		3丁目 (行政区 稻荷町)	→ 5
	新柳町		→ 1
	鈴井町		→ 1
曾野町		→ 5	

た行	大山寺町		→ 5	
	大山寺本町		→ 5	
	大山寺元町		→ 5	
	大市場町		→ 5	
	大地新町		→ 2	
	大地町		→ 2	
	中央町		→ 2	
	な行	中野町		→ 1
		中本町	南葭原、東葭原、南加路桶、葭原の一部(5番地以上)	→ 3
			上記以外	→ 1
野寄町		→ 2		
は行	東新町		→ 3	
	東町	仙奈・掛目	→ 3	
		上記以外	→ 1	
	本町	一丁田	→ 5	
		上記以外	→ 1	
ま行	南新町		→ 2	
	宮前町		→ 1	
や行	八劔町	脇之本	→ 3	
		上記以外	→ 4	

問4 あなたの職業を教えてください。【○は1つだけ】

1 会社員	6 家事専業
2 公務員	7 学生
3 自営業	8 無職
4 農業	9 その他 ()
5 パート・アルバイト	

問5 あなたの世帯のタイプは次のどれに属しますか。【○は1つだけ】

1 単身世帯	4 2世代同居世帯（親と子どもの世帯）
2 夫婦のみの世帯	5 3世代同居世帯
3 1世代世帯（夫婦のみの世帯を除く。 例：兄弟のみ・姉妹のみの世帯など）	6 4世代以上同居世帯
	7 その他 ()

問6 岩倉市にお住まいになって何年になりますか。【○は1つだけ】

1 3年未満	4 10年以上20年未満
2 3年以上5年未満	5 20年以上30年未満
3 5年以上10年未満	6 30年以上

問7 あなたの家では、どのような方が同居されていますか。あなた自身を含めてお答えください。
【あてはまるものすべてに○】

1 乳幼児	5 大学生・専門学校生
2 小学生	6 70歳以上
3 中学生	7 1～6以外の同居人がいる
4 高校生	8 同居人はいない

問8 お住まいの周辺の生活環境について、おたずねします。【1つずつ選んで○をつけてください。】

区 分	項 目	満足度		
		満 足	ど ち ら か も い え な い	不 満
健康・福祉	1 医院・診療所までの近さ	1	2	3
環境・ 防災防犯	2 身近な子どもの遊び場の多さ	1	2	3
	3 身近な公園・緑地の多さ	1	2	3
	4 子どもの遊び場の安全性	1	2	3
	5 付近の緑の豊富さ	1	2	3
	6 ごみの収集場所の近さ	1	2	3
	7 騒音・振動などの自動車公害の少なさ	1	2	3
	8 大気汚染・水質汚濁などの工場公害の少なさ	1	2	3
	9 路上や公共の場所での喫煙マナー	1	2	3
	10 空き地などの雑草の手入れの状態	1	2	3
	11 浸水や地震などの地域防災体制	1	2	3
	12 近隣の側溝などの水はけの良さ	1	2	3
	13 犯罪・暴力からの安全性	1	2	3
	生涯学習・ 教育	14 通学路の安全性	1	2
15 小・中学校までの近さ		1	2	3
都市基盤	16 電車の駅・バスの停留所までの近さ	1	2	3
	17 電車・バスの運行本数の多さ	1	2	3
	18 電車・バスの車内の混み具合	1	2	3
	19 道路の歩行者の通行の安全性	1	2	3
	20 道路の自転車の通行の安全性	1	2	3
	21 道路の広さ	1	2	3
	22 道路の舗装状況	1	2	3
	23 日常の買い物の便利さ	1	2	3
	24 お住まいの日当たりや風通しの良さ	1	2	3
	25 建物の立て込み具合(災害時などの安全性)	1	2	3
協働	26 近所づきあい(向こう3軒両隣のつきあい)の良さ	1	2	3
	27 地元・地域における人間関係の良さ	1	2	3

問9 岩倉市のまちの魅力について、おたずねします。【魅力がある点と魅力がない点、それぞれあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。】

区 分	魅力がある点	魅力がない点
健康・福祉	1 医療施設が充実している	1 医療施設が充実していない
	2 高齢者の福祉サービスが充実している	2 高齢者の福祉サービスが充実していない
	3 子育て支援サービスが充実している	3 子育て支援サービスが充実していない
	4 障害者の福祉サービスが充実している	4 障害者の福祉サービスが充実していない
環境・ 防災防犯	5 緑などの自然環境に恵まれている	5 緑が少なく、自然環境が乏しい
	6 防災対策がいきとどいている	6 防災対策がいきとどいていない
	7 防犯面において安心できる	7 防犯面における不安が多い
生涯学習・ 教育	8 文化・教育施設が充実している	8 文化・教育施設が充実していない
	9 市民の文化・芸術活動が盛んである	9 市民の文化・芸術活動が盛んではない
	10 文化財など歴史的遺産に恵まれている	10 文化財など歴史的遺産に恵まれていない
	11 スポーツ・レクリエーション活動が盛んである	11 スポーツ・レクリエーション活動が盛んではない
	12 スポーツ施設が充実している	12 スポーツ施設が充実していない
都市基盤	13 交通の便が良く、通勤・通学に便利である	13 交通の便が悪く、通勤・通学に不便である
	14 道路の整備状況が良い	14 道路の整備状況が悪い
	15 農地が多く住宅地など開発の余地がある	15 市域が狭く開発の余地が少ない
	16 まちに活気がある	16 まちに活気がない
	17 市の面積・人口が適当な規模でまとまりがある	17 市の面積が狭い割に人口が多く雑然としている
	18 日常の買物が便利である	18 日常の買物が不便である
	19 農地と住宅がうまく調和し、田園環境に恵まれている	19 農地と住宅地と工場が混在し、まとまりがない
産業	20 優良農地が多い	20 優良農地が少ない
	21 働く場所がある	21 働く場所がない
	22 桜まつりやふれ愛まつりなど、市内のイベントが活発に行われている	22 市内のイベントが活発に行われていない
協働	23 市民活動が盛んである	23 市民活動が盛んではない
	24 人々が親切で人間味がある	24 人々が不親切で人間味がない
	25 人間関係が良い	25 人間関係が良くない
その他	26 その他()	26 その他()

問 10 岩倉市が行っている施策について、満足度と重要度をおたずねします。

【1つずつ選んで○をつけてください。】

区分	項目	満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
健康・福祉	1 健康づくりへの支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 医療機関との連携や医療情報の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 高齢者の福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 子育て支援サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5 障害者の福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6 地域福祉活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7 子ども・障害者などの医療費の助成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境・防災防犯	8 五条川や桜並木などの自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9 公園や子どもの遊び場などの整備・維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10 公害(騒音・振動・水質汚濁など)の防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11 二酸化炭素削減やリサイクルなどの環境対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12 ごみ収集・処理体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13 地震や浸水などの防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14 消防・救急体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15 地域の防犯活動への支援や防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16 歩行者や自転車などが安全に移動できる交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生涯学習・教育	17 生涯学習の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18 遺跡・文化財の保護継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 文化・芸術の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20 図書館の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22 スポーツの普及と振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 小・中学校の教育活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤	24 電車・バスなどの公共交通の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25 自動車の移動が便利な道路網	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26 計画的な市街地整備や再開発などによる質の高い市街地の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27 まち並みや沿道などの景観整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28 安全な水道水の安定した供給の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29 下水道整備などの生活排水処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

区分	項目	満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
産業	30 農地の保全活用などの農業振興策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31 地産地消などの食の安心・安全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32 産業振興 (既存企業への支援や新たな企業の誘致)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33 小売商業の振興 (日常生活に必要な商業者への支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34 消費生活相談体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35 観光・交流の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
協働	36 NPO・市民活動団体への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37 地域コミュニティ活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38 市政への市民参画(市民意見の反映)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40 平和活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41 市政情報の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 11 次の観点から岩倉市を見た場合、どのように感じますか。

【1つつ選んで○をつけてください。】

項目	評価		
1 子育てするまち	1 良い	2 普通	3 悪い
2 児童、生徒、学生が生活するまち	1 良い	2 普通	3 悪い
3 家庭を預かる主婦(主夫)が生活するまち	1 良い	2 普通	3 悪い
4 家族で休日や余暇を過ごすまち	1 良い	2 普通	3 悪い
5 高齢者が生活するまち	1 良い	2 普通	3 悪い

問 12 総合的にみて岩倉市は住みよいまちだと思いますか。【○は1つだけ】

1 住みよい	4 どちらかといえば住みにくい
2 どちらかといえば住みよい	5 住みにくい
3 どちらともいえない	

問 13 これからも岩倉市に住み続けたいと思いますか。【○は1つだけ】

1 永住したい 2 当分住み続けたい	3 できれば移転したい 4 移転する予定である	5 わからない
-----------------------	----------------------------	---------

永住したい、当分住み続けたい理由は何ですか。
【○は3つまで】

1 愛着がある 2 自分の家や土地がある 3 近くに親戚や親しい人がいる 4 自然環境が良い 5 通勤・通学に便利 6 日常の買い物に便利 7 交通の便が良い 8 地域の間人関係が良い 9 家族の都合 10 居住環境が良い 11 子育て環境が良い 12 災害が少ない 13 犯罪が少ない 14 その他 ()

できれば移転したい、移転する予定である理由は何ですか。【○は3つまで】

1 愛着がない 2 自分の家や土地がない 3 近くに親戚や親しい人がいない 4 自然環境が悪い 5 通勤・通学に不便 6 日常の買い物に不便 7 交通の便が悪い 8 地域の間人関係が悪い 9 家族の都合 10 居住環境が悪い 11 子育て環境が悪い 12 災害が多い 13 犯罪が多い 14 その他 ()
--

問 14 お住まいの周辺の住環境について問題であると感じていることはありますか。

【あてはまるものすべてに○】

1 住宅地の中に工場などの建物が混在している 2 低層住宅地に中高層住宅が立地している 3 農地が住宅に変わるなど身近な緑が減少している 4 道路が狭く、建物がごちゃごちゃしている 5 建物の形態がばらばらで、美しくない 6 特にない 7 その他 ()

問 15 地域の住環境を保全するため、建物の用途や高さの制限など、まちづくりのルールを定めることについてどのようにお考えですか。【○は1つだけ】

1 現在の住環境を保全するため、ぜひ必要である 2 みんながルールづくりに賛成するなら、それに従う 3 現在の規制で十分であり、必要ない 4 厳しい規制をかけることにより、土地利用の自由度が阻害されるので反対である 5 わからない 6 その他 ()
--

問 16 現在のあなたやご家族の健康状態はいかがですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 家族全員が健康である
- 2 あまり健康でない家族がいる
- 3 病気やけがで通院している家族がいる
- 4 病気やけがで入院している家族がいる
- 5 病気やけがで自宅療養している家族がいる

問 17 健康維持、増進のために普段どのようなことを行っていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 食生活に注意している（栄養の偏り、食べ過ぎなど）
- 2 添加物の少ない食品や低農薬野菜などを取るよう、食物に気を使っている
- 3 日常生活の中でできるだけ歩くなどしている
- 4 ウォーキング・ジョギング・体操など軽い運動を定期的に行っている
- 5 ソフトボール・テニスなどスポーツを定期的に行っている
- 6 適度な休息をとり、規則正しい日常生活を送っている
- 7 ビタミン剤などの栄養補給剤、漢方薬を使用している
- 8 酒・たばこをつつしむようにしている
- 9 定期的に健康診断を受けている
- 10 特にない
- 11 その他（)

問 18 岩倉市では、次のような健康づくりの施策を実施しています。今後どの施策によりいっそう力を入れるべきだと思いますか。【○は3つまで】

- 1 健康教室・講座・広報などを通じて健康に関する知識を得るための機会の充実
- 2 食生活の改善に向けて栄養指導の充実
- 3 健康診断やがん検診（胃がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、大腸がん）の充実
- 4 健康問題に関する相談の充実
- 5 歯科保健事業（歯科健診・相談、フッ化物塗布など）の充実
- 6 気軽にできる健康体操教室の充実
- 7 ウォーキング事業の充実
- 8 保健推進員*活動の充実
- 9 食生活改善推進員*活動の充実
- 10 特にない
- 11 その他（)

*保健推進員：地域での健康づくりの担い手、また保健センターと地域とのパイプ役。地区単位で、健康づくり教室、栄養教室、健康体操、歩け歩け運動などを開催している。

*食生活改善推進員：保健センターや地域で食を通じた健康づくりを進めるため、正しい食生活の啓発活動に取り組んでいる。

問 19 子育てや青少年の健全育成の現状について、根本的に何が問題であると思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1 家庭でのしつけが不十分である
- 2 家庭でのふれあいが不十分である
- 3 学校で教えることが多すぎる
- 4 学校の規則が厳しすぎる
- 5 教師と生徒との接触が乏しい
- 6 教師の指導力が不十分である
- 7 子どもたちの生活が勉強に偏りがちである
- 8 子どもたちの遊び場が少ない
- 9 受験競争が厳しい
- 10 地域社会と子どもたちの関わり合いが少ない
- 11 テレビなどが子どもに悪影響を与えている
- 12 世の中の風俗が乱れている
- 13 特にない
- 14 その他 ()

問 20 子育てしやすい環境を整えるために、岩倉市ではどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【○は3つまで】

- 1 育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備
- 2 男性が育児に関わりやすい制度の整備・強化
- 3 休日保育や一時保育、病児保育など多様な保育サービスの充実
- 4 ファミリーサポート事業や子育て支援事業など子育て支援サービスの充実
- 5 子育てサークルなど子育て活動を行う団体の育成
- 6 子育てに関する情報の提供・相談体制の充実
- 7 妊産婦、乳幼児の健康診断や保育指導など母子保健サービスの充実
- 8 不妊治療の支援の充実
- 9 児童館での学童保育の充実
- 10 安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備
- 11 子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備
- 12 児童手当等の拡充
- 13 子どもの医療にかかる負担の軽減
- 14 授業料の助成などの奨学事業の充実
- 15 子どもに対する多様な文化体験・スポーツ体験・社会体験機会の提供
- 16 子連れで外出しやすい施設やまちの環境整備の推進
- 17 特にない
- 18 その他 ()

問 21 あなたは食育*について、どのようなことに関心がありますか。【○は3つまで】

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 子どもたちの心身の健全な発育のための食生活 |
| 2 | 生活習慣病の予防や健康づくりのための食生活 |
| 3 | 消費者と生産者の交流 |
| 4 | 食にまつわる地域の文化や伝統に関すること |
| 5 | 食料自給率に関すること |
| 6 | 食べ残しや食品廃棄に関すること |
| 7 | 食品の安全性に関すること |
| 8 | 地産地消に関すること |
| 9 | 特にない |
| 10 | その他 () |

*食育：自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習などの取組。

問 22 高齢者福祉として、岩倉市ではどのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。

【○は3つまで】

- | | |
|----|--|
| 1 | 高齢者の就労機会を充実する |
| 2 | 高齢者の健康づくりや健康相談の機会を充実する |
| 3 | 地域の人たちが互いに支え合う仕組みづくりを進める |
| 4 | 高齢者が集える場所を充実する |
| 5 | 特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護サービスを充実する |
| 6 | 高齢者の経験や知恵が活かせ、ボランティアなど気軽に社会参加できる機会を提供する |
| 7 | 道路の段差解消やスロープの設置など、高齢者が安心して外出できるまちづくりを進める |
| 8 | スポーツや文化活動などの趣味が楽しめる施設や機会を充実させる |
| 9 | 特にない |
| 10 | その他 () |

問 23 高齢化が進行する中、身近な地域における市民相互の助け合い活動が、今後ますます重要になってくると考えられます。あなたは、市内の地域福祉活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。【○は3つまで】

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする |
| 2 | 思いやりの心、やさしい心を育てるなど、学校や地域で福祉教育を行う |
| 3 | 地域における市民のための活動拠点を整備する |
| 4 | ボランティアのための休暇や労働時間の短縮などについて企業が配慮する |
| 5 | 障害や認知症などの悩みを持つ人への理解のための地域づくりを行う |
| 6 | 地域活動のリーダー等の養成や福祉活動の専門職員の充実を図る |
| 7 | 助け合いの場や活動についての情報を得やすくする |
| 8 | 介護やボランティア活動に関する研修を行う |
| 9 | 市民参加による地域福祉活動が地域の中で展開できる組織をつくる |
| 10 | 特にない |
| 11 | その他 () |

4 環境について

問 24 毎日の暮らしの中で、環境のためにどのような工夫や努力を行っていますか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1 省エネ商品やリサイクル商品の購入に努める
- 2 エコラベルなど、環境に配慮していると思われる企業の商品を優先的に購入する
- 3 過剰包装やレジ袋を辞退したり、買い物袋を持参する
- 4 食べ残しや作りすぎをしないなど、生ごみの減量化に努める
- 5 地域のごみの分別ルールを守る
- 6 日常生活において、できるだけごみを出さないようにしている
- 7 古紙、牛乳パック、ペットボトル、空き缶などはリサイクルに回している
- 8 修理できるものは修理し、不要なものはバザーやリサイクルショップなどを利用する
- 9 台所からの調理くずや油を流さない、洗剤の使用量を抑えるなど、生活排水に気をつける
- 10 自動車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車などを利用する
- 11 自動車を利用する場合は、アイドリングストップを心掛けたり、空ぶかしをしない
- 12 冷暖房を控えるなど、節電を心掛ける
- 13 花や樹木などを植えて緑を増やす
- 14 地域の環境保全活動に参加する
- 15 特にない
- 16 その他 ()

5 防災について

問 25 あなたは、地震や台風などの災害や緊急時の備えについて、現在どのような備えをしていますか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1 非常食や水の準備
- 2 非常持出品の用意
- 3 家具の転倒防止
- 4 自宅の耐震化や耐震診断の実施
- 5 避難経路・避難場所の確認
- 6 家族との連絡方法の確認
- 7 地域の防災訓練への参加
- 8 特にない
- 9 その他 ()

問26 生涯学習にはどのような目的があると思いますか。【○は1つだけ】

- 1 仕事や就職・学業に必要な知識や能力を身に付けるため
- 2 市民活動などの社会貢献をするため
- 3 日常生活など暮らしで役立つ知識や能力を身に付けるため
- 4 自分の人生をより豊かにするため
- 5 わからない
- 6 その他 ()

問27 現在、どのような生涯学習活動や生涯学習講座に参加していますか。また、今後どのような生涯学習活動や生涯学習講座に参加したいですか。

【あてはまるものをすべて選んで□の回答欄に番号を記入してください。】

- 1 学校で習うような教養を高めるもの〔自然科学、人文科学、文化財など〕
- 2 職業上の知識や技術を修得するもの〔パソコン、経理など〕
- 3 家政に関するもの〔洋・和裁、料理、編み物など〕
- 4 自らの芸術性を高めるもの〔美術、音楽、諸芸能など〕
- 5 趣味として自分の生きがいになるもの〔読書、音楽鑑賞、園芸など〕
- 6 国際性を高めるもの〔諸外国の言語、風俗、経済、歴史、地理などについての知識〕
- 7 身体を動かして健康を高めるもの〔スポーツ、体操、散歩、レクリエーションなど〕
- 8 健康について考えるもの〔栄養や保健の知識など〕
- 9 市民同士の交流のためのもの〔コミュニティ活動など〕
- 10 子どもの教育についてのもの〔育児、しつけなど〕
- 11 悩みを抱えたり、困っている人たちを支えるためのもの〔ボランティア活動など〕
- 12 現在、生涯学習活動を行っていない
- 13 今後、生涯学習活動をしたくないと思わない

●現在、行っているもの

(現在、生涯学習活動を行っていない方は、12 と記入してください。)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●今後、行ってみたいもの

(今後、生涯学習活動をしたくないと思わない方は、13 と記入してください。)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 28 岩倉市では、これまでクラシックを中心とした音楽のあるまちづくりを進めてきましたが、あなたはどのようなジャンルの音楽に興味がありますか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 クラシック | 6 演歌・民謡 |
| 2 ジャズ | 7 フォークソング |
| 3 日本のロック・ポップス | 8 アニメソング |
| 4 外国のロック・ポップス | 9 その他 () |
| 5 歌謡曲 | |

問 29 岩倉市では、ポップスコンサート、ロビーコンサート、岩倉駅コンサートなど、毎年様々なコンサートを行っています。今までに鑑賞されたことがありますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 鑑賞したことがある | 3 開催していることを知らない |
| 2 鑑賞したことがない | |

問 29-1 鑑賞したことがないとお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。【○は1つだけ】

- | | |
|------------|------------|
| 1 音楽に興味がない | 3 企画に魅力がない |
| 2 時間がない | 4 その他 () |

問 30 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。【○は1つだけ】

- | | |
|---------|---------|
| 1 自信がある | 3 不安がある |
| 2 普通である | 4 わからない |

問 31 あなたは、何日くらいスポーツ・運動をしますか。【○は1つだけ】

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 週に3日以上 | 4 3か月に1～2日 |
| 2 週に1～2日 | 5 年に1～3日 |
| 3 月に1～3日 | 6 スポーツ・運動をしなかった |

問 31-1 スポーツ・運動をしなかった方におたずねします。あなたがスポーツ・運動をしないのはどのような理由からですか。【○は1つだけ】

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 忙しくて時間がないから | 6 スポーツ・運動に関する情報がないから |
| 2 体が弱いから | 7 お金がかかるから |
| 3 年をとったから | 8 スポーツ・運動が好きではないから |
| 4 場所や施設がないから | 9 機会がないから |
| 5 指導者がいないから | 10 その他 () |

問 32 岩倉市では、「市民^{いち}スポーツ」を合言葉に、生涯スポーツの普及・啓発に努めています。今後、岩倉市がどのようなスポーツ・運動が盛んなまちになれば良いと思いますか。
【○は1つだけ】

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 競技スポーツ |
| 2 | 個人のレクリエーションや息抜きの運動 |
| 3 | 健康づくりのための軽い運動 |
| 4 | 小中学校での部活動や体育などの運動 |
| 5 | いろいろなスポーツが楽しめる地域スポーツクラブ |
| 6 | その他 () |

7	男女共同参画について
----------	-------------------

問 33 岩倉市では、男女共同参画型社会の実現をめざしています。女性の地位向上や社会参加を進めるために、どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【○は3つまで】

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 女性のための相談窓口の設置 |
| 2 | 市の審議会・委員会への女性の登用 |
| 3 | 保育所施設の拡充・整備など女性が安心して働くことのできる施設の充実 |
| 4 | 学校教育での男女平等意識の啓発 |
| 5 | 高齢者や障害者のいる家族介護者の負担軽減のための公的サービスの充実 |
| 6 | 女性フォーラムなど生涯学習事業の充実 |
| 7 | 産後や子育て後の社会復帰などに役立つ職業教育・講座などの充実 |
| 8 | 行政による男女平等意識の啓発・PR |
| 9 | 男女雇用機会均等などをテーマとした企業主・経営者との懇談会 |
| 10 | 区長・PTA役員など地域活動における代表者への女性の登用 |
| 11 | 特にない |
| 12 | その他 () |

8	市民参画や協働によるまちづくりについて
----------	----------------------------

問 34 市民の意見を十分に反映した市政を行っていくために、何が重要だと思いますか。
【○は2つまで】

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 政策づくりの過程からの情報発信や意見募集 |
| 2 | 政策づくりに関わる各種委員の公募拡大 |
| 3 | アンケートなど市民の意見を聴く機会の充実 |
| 4 | 実施した政策の評価を市民参画で行うための機会の充実 |
| 5 | 市政情報の公開 |
| 6 | 市民が政策の提案を行える機会の充実 |
| 7 | その他 () |

問 35 現在のあなたの市民活動や地域活動の参加状況についておたずねします。【○は1つだけ】

1 既に参加している 2 参加しようと思っている	3 あまり参加しようとは思わない 4 参加しようとは思わない
-----------------------------	-----------------------------------



参加している、参加しようと思っている活動は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

1 行政区や自治会の活動
2 P T Aの活動
3 子ども会など子育てに関する活動
4 老人クラブなどの活動
5 祭りなどの伝統的な行事
6 防災・防犯の活動
7 文化・芸術の活動
8 環境美化・自然保護活動
9 まちづくりの活動
10 地域のスポーツクラブ・サークル活動
11 地域の趣味・教養のクラブ・サークル活動
12 各種ボランティア活動
13 その他 ()

参加しようと思わない理由は何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

1 時間に余裕がない
2 参加する方法がわからない
3 気軽に参加できる機会がない
4 家族の理解が得られない
5 関心がない
6 その他 ()

問 36 岩倉市では、防災・防犯など日常生活に密着した地域活動について、小学校区単位での活動を進めていきたいと考えています。基本的な地域活動の単位について、どのように思いますか。
(※現在の行政区を再編するものではありません。)【○は1つだけ】

1 小学校区単位が好ましい
2 中学校区単位が好ましい
3 小学校区単位よりもっと小さな単位が好ましい (具体的に：)
4 中学校区単位よりもっと大きな単位が好ましい (具体的に：)
5 現在の行政区単位でよい
6 その他 ()

*多文化共生：国籍や民族などの異なる人たちが、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生活すること。

問 37 岩倉市では、異なる文化の人々が一緒に生活できるまちをめざしています。そのためにどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。【○は3つまで】

- 1 保育園や学校などで子どもや青少年の交流の機会を増やす
- 2 地域の行事・自治会で交流の機会を増やす
- 3 文化活動・スポーツなどを通じた市民交流の機会を増やす
- 4 公共施設の外国語案内や生活情報紙の外国語表示を増やす
- 5 地域での言語の学習の機会を増やす
- 6 学校教育における国際理解や言語教育を充実させる
- 7 地域の国際理解活動を充実させる
- 8 国際交流・協力を推進する組織・団体等への支援や育成を図る
- 9 多文化共生に関する相談窓口を設置する
- 10 特にない
- 11 その他 ()

問 38 岩倉市では、次のような平和事業を行っています。あなたは、これらの事業についてご存知ですか。

【あてはまるものすべてに○】

- 1 戦没者追悼式
- 2 平和資料展
- 3 戦争被災者の体験を聞く会
- 4 小中学生を広島・長崎へ派遣する平和祈念事業
- 5 平和祈念市民参加事業（折鶴の作成）
- 6 平和に関する図書コーナー
- 7 核兵器廃絶都市宣言
- 8 平和に関する映画の上映会
- 9 全く知らない
- 10 その他 ()

問 39 岩倉市に対してどのような行政経営を求めますか。【○は3つまで】

- 1 職員の意識改革・資質向上
- 2 市民参画・協働のまちづくりの推進
- 3 行政事務の効率化
- 4 公共事業や行政サービス*の見直し
- 5 民間活力の導入（民営化・民間委託等）
- 6 行政サービスの適正な受益者負担*
- 7 補助金の削減・見直し
- 8 広域行政の推進
- 9 その他（ ）

*行政サービス：国や地方公共団体が、集めた税金等を用いて地域住民に対して行う奉仕活動や役務のこと。

*受益者負担：行政サービスを行う際、特にその利益を受けるもの（受益者）がその利益に応じてその経費を負担すること。

問 40 行政サービスと市民負担のバランスをどのように考えますか。【○は1つだけ】

- 1 行政サービスの充実のために、市民全体の負担が増えるのは仕方がない
- 2 市民全体の負担が増えるのであれば、行政サービスの充実をある程度見合わせることは仕方がない
- 3 受益者負担を増やすべきで、市民全体の負担を増やすべきではない
- 4 行政サービスの充実のためには、徹底した行政改革により、財源を生みだすべき
- 5 その他（ ）

11 市政の情報提供について

問 41 岩倉市では、次のような方法により市民の皆さまに情報提供をしています。あなたは日ごろどの程度利用されていますか。【1つずつ選んで○をつけてください。】

	よく利用している	ときどき利用している	あまり利用したことがない	まったく利用したことがない
1 広報いわくら	1	2	3	4
2 岩倉市のホームページ	1	2	3	4
3 情報サロン(市役所1階)	1	2	3	4

問 42 岩倉市に対して、今後どのような情報提供を充実してほしいと思いますか。【○は3つまで】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 行政が行っている施策や計画に関する情報 2 市役所の業務内容や行政の様々な手続きに関する情報 3 公共施設の利用方法や利用時間などに関する情報 4 市や各種団体が主催するイベントや催し物の情報 5 各種講座や教室に関する情報 6 市内で活動している文化・スポーツ・福祉のサークルや団体に関する情報 7 いろいろな災害に備えるために必要な情報 8 救急医療などの医療機関に関する情報 9 育児講座など子育てに関する情報 10 学校行事などの子どもに関する情報 11 健康づくりに関する情報 12 健康診断・健康相談などの日程、内容に関する情報 13 福祉サービスに関する情報 14 ごみの収集日や地域の行事などの身近な暮らしの情報 15 特にない 16 その他 () |
|--|

◆岩倉市のまちづくりについて、ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。



岩倉市のPR大使い〜わくん

ご協力ありがとうございました。
8月30日(金)までに投函してね。

平成 25 年度 岩倉市市民意向調査報告書
平成 26 年 3 月

発行：岩倉市総務部企画財政課
愛知県岩倉市栄町一丁目 66 番地
編集：株式会社創建環境エンジニアーズ

岩倉市